

太陽と月のかがやき

会 期 2007年9月8日(土)～11月4日(日)

燦燦とかがやく太陽に、皓皓とひかる月。古来より人びとは空にかがやく太陽と月にさまざまな思いを託してきました。初日の出や富士山などの高山で御来光を拝むこと、陰暦8月15日の中秋に団子や収穫物を供えて月見をすることなど、現在でも太陽と月をめぐるさまざまな風習が残されています。美術においても宗教画に始まり、水墨画から近代・現代の日本画にいたるまで、多くの画家にとって日月すなわち太陽と月は主要な題材となってきました。

太陽は、鶴や鷹、鳳凰のほか、富士山や大海、松と組み合わせて吉祥画題とされてきましたが、近代になると太平洋戦争中に日本の象徴として描かれました。月は、有明月、残月、朧月、半月、三日月など時間や季節、そして形によって呼び名もさまざまです。梅や秋草との組み合わせや、月にすむという兔を描いた作品は少なくありません。

本展覧会では、横山大観や奥村土牛ら日本画家が描いた太陽と月の絵画・工芸など56点を紹介し、作品に託された思いや多彩な表現をご覧ください。

会 場 高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町3-23 電話 027-330-3773)

時 間 午前10時～午後6時 (入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ午前10時～午後8時 (入館は午後7時30分まで)

休 館 日 月曜日 (祝日の場合は開館し、翌日休館)

会期中の休館日：9/10・18・25、10/1・9・15・22・29

観 覧 料 一般：500円(400円)、大高生：300円(250円)、中小生：200円(150円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、未就学児は無料となります
- 毎週土曜日、小中学生は無料となります
- 9月17日敬老の日は、65歳以上の方の同伴者2名まで無料
- 10月28日県民の日は、無料開放

主 催 高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞東京本社前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

協 力 ヤマタネグループ

関連事業

- 邦楽演奏会「美術館で月見の宴」三曲合奏グループ 10/22 18:30～
- 学芸員による作品解説会 9/8、9/22、10/6、10/20、11/3 14:00～